

『防災セミナー』

『東日本大震災から13年・・・被災地からの想い』

東日本大震災から13年を迎え、被災地の復興はどうなっているのでしょうか。未曾有の震災を風化させてはいけません。奇しくも令和6年能登半島地震が1月1日に発災しました。

八街市では、塩竈市民ボランティア『希望』代表會澤純一郎氏とこれまで多くの活動を行ってきました。今回はこの13年間を振り返り、基調講演では會澤さんに被災地の今と減災について語っていただきます。

また、令和6年能登半島地震により現地で活躍した方々に、それぞれの立場から実践報告をいただきます。

災害はいつ起こるかわかりません。多くの皆様に参加いただき、災害について考える機会とするためセミナーを開催します。

■基調講演

『東日本大震災の復興と災害大国日本の対応』

講師

塩竈市民ボランティア『希望』代表 會澤 純一郎氏

會澤氏は被災地の復興に向けて、これまで仮設住宅の支援や全国のボランティアの受け入れをコーディネート。また、被災地の現状や復興状況、未曾有の災害である東日本大震災を風化させない取り組みとして『語り部』としても活躍しています。千葉黎明高等学校の修学旅行先としてこれまで多くの高校生にメッセージを伝えています。



■令和6年能登半島地震支援実践報告

報告者 ①八街市役所建設部都市計画課建築設計係長 齊藤 祐介氏

②千葉県災害福祉支援チーム（千葉県DWAT）

小規模多機能型居宅介護支援ゆるるかケアマネジャー 永井 貴之氏

③（一社）まちかど防災『減災塾』 事務局長 大竹 雄一郎氏

■「東日本大震災から13年の振り返り」

社会福祉法人八街市社会福祉協議会 事務局長 綿貫 敏宏

日時 令和6年3月9日（土）午後1時30分～ ※受付 午後1時～

場所 市総合保健福祉センター 3階 大会議室

■申し込み・問い合わせ先

※お申し込みは右記QRコードまたは下記にお問い合わせください。

（福）八街市社会福祉協議会 電話：043-443-0748

メール：fukushi@yachimata-shakyo.or.jp

※会場に令和6年能登半島地震義援金の募金箱を設置します。

義援金の募集にご協力よろしくお願ひします。

義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送金します。

主催：（社）八街市社会福祉協議会 後援：八街市

